ヘ　ロの土地にあっては、地下水が目標地下水濃度を超えない汚染状態にあることを確認するための地下水の水質の測定を行うための観測井を設置する地点及び当該地点に当該観測井を設置する理由 ト　観測井を設置する方法 チ　地下水の水質の測定の対象となる特定有害物質の種類並びに当該測定の期間及び頻度 リ　土壌含有量基準に適合しない汚染状態にある土地にあっては、土壌含有量基準に適合する汚染状態にある土壌としたことを確認するための試料採取等を行う地点及び深さ並びに測定の対象となる特定有害物質の種類	
六　遮断工封じ込め イ　基準不適合土壌のある範囲及び深さその他の土壌汚染の状況並びにその他の汚染除去等計画の作成のために必要な情報 ロ　評価地点及び当該評価地点に設定した理由 ハ　目標土壌溶出量及び目標地下水濃度並びに当該目標土壌溶出量及び当該目標地下水濃度に設定した理由 ニ　目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌を掘削する範囲及び深さ ホ　掘削を行う方法 ヘ　掘削した目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌を埋め戻すための構造物のうち仕切設備の種類及び当該仕切設備を設置する方法 ト　仕切設備が遮断の効力及びその他の要件を備えたものであることを確認した結果 チ　仕切設備の内部に、掘削した目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌を埋め戻す方法 リ　埋め戻しを行った後、仕切設備の開口部を覆いにより閉鎖する方法 ヌ　覆いが遮断の効力及びその他の要件を備えたものであることを確認した結果	イ　この項の中欄ニに掲げる事項の変更のうち、目標土壌溶出量を超える汚染状態にある土壌の外側にあり、かつ、準不透水層又は不透水層であってもっとも浅い位置にあるものより浅い範囲及び深さへの変更であって、新たに基準不適合土壌が帯水層に接することがない変更